

子宮頸がん予防ワクチンの定期接種について

20歳代から30歳代に増加している子宮頸がんは、発がん性のヒトパピローマウイルス（HPV）に感染することでかかる病気で、子宮頸がん予防ワクチンを接種することで、患者の約6割から見つかる2つの型（HPV16・18型）のウイルスの感染を予防できるといわれています。

令和4年4月1日から子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）が、定期の公費負担の予防接種でとなっています。（3回接種で無料です）

産婦人科学会・小児科学会ともに積極的接種をお勧めしています。

令和4年度の定期接種の対象者と期間

小学6年生から高校1年生相当の女子

（平成18年4月2日から平成21年4月1日生まれ）

接種期限：高校1年生相当の3月31日まで

※接種時に大阪市に住民登録のある方

本年度はコロナ感染のために接種機会を逃した方に期限付きで接種を受けてい

ただくことができます。

・平成21年4月2日～平成22年4月1日生まれ	期限 令和8年3月31日
・平成22年4月2日～平成23年4月1日生まれ	期限 令和9年3月31日

接種希望の方は希望日の1週間前までに接種希望と電話でお伝えください。お

電話いただい方は予約なしでも接種できます。（電話番号 06-6761-0735）

未成年の方は、一度目は保護者の同伴が必要です。